

平成18年6月27日  
電源開発株式会社

松島火力発電所2号機における水・蒸気系配管肉厚検査結果および  
火力発電所における配管肉厚検査の終了について

当社では、平成16年8月11日付経済産業省指示（「発電用火力設備の水・蒸気系配管の技術基準適合状況調査について」）に基づき、火力発電所における、腐食・浸食による減肉が生じる可能性のある配管の検査計画を提出し、順次、配管肉厚の自主検査を実施してまいりました。

このたび、平成18年6月までに実施することとしていた5ユニット（磯子新1号機、橘湾1号機、松浦2号機、松島2号機、石川石炭2号機）の検査を終了しました。

その結果、松島火力発電所2号機において、減肉により必要肉厚を下回っている部位が1箇所確認されました。当該部位については、定期事業者検査の期間中に取替を実施し、健全性を確保しております。

なお、当社の火力発電所の配管肉厚検査については、今回の5ユニットの検査終了をもって、計画した全ての検査を終了しました。これまで確認された必要肉厚を下回った箇所については、全て配管を取替えて健全性を確保しております。

また、今後はこれまでの検査結果等をもとに適切な配管管理を実施し、安全運転に万全を期してまいります。

◇ 松島火力発電所2号機

発電機出力 : 500MW

運転開始年月日 : 昭和56年6月19日

所在地 : 長崎県西海市大瀬戸町

<減肉による不具合箇所>

減肉箇所	呼び径	公称肉厚 mm	必要最小肉厚 mm	測定最小値 mm
第6給水加熱器入口前T管	400A	57.0	46.80	46.08

別紙 松島火力発電所2号機 系統図概要

以上